

### 施策評価調書(5年度実績)

				施策コード	I-4-(4)			
政策体系	施策名	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	所管部局名	生活環境部			長期総合計画頁	45
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～おおいとうつくし作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、土木建築部				

#### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域の活性化(まちづくり)	人材の育成(ひとづくり)	持続可能な活動基盤づくり(なかまづくり)

#### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		5年度			6年度	目標達成度(%)									
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125					
i	県民一斉おおいとうつくし大行動参加者数(人)	①②③	H26	354,556	399,000	362,764	90.9%	404,000										

#### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね 達成	福岡・大分デスティネーションキャンペーンの開催に伴い、うつくし推進隊等の支援を拡充するなど、多くの県民を巻き込んだ活動を実施することができた。しかし、天候不良の影響などにより実施できなかった活動もあり、目標を達成できなかった。	概ね 達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・まちづくり推進事業をうつくし推進隊7団体に委託し、地域の清掃活動や花の植栽、登山道の整備等を通じて、広く県民へ「おおいたうつくし作戦」の浸透を図ることができた。
②	・幼児向け環境劇は、幼稚園等からの要望も多く、38公演で3,592人を対象に実施しており、環境教育指導者からは、幼少期からの環境保全意識の醸成に効果的であると評価を受けている。 ・環境教育アドバイザーを187回(受講者数:9,363人)派遣し、地域や学校、職場などにおける環境教育の機会を提供することができた。
③	・うつくし感謝祭やSNSを活用した情報発信により、おおいたうつくし作戦のけん引役であるうつくし推進隊は26団体増加し、256団体となった。 ・福岡・大分デスティネーションキャンペーンにあわせて拡充したなかまづくり推進事業を38団体が活用し、地域住民とともに実施する清掃活動などを支援することで、活動基盤を強化することができた。

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(5年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	クリーンロード支援事業	90.3	124
①②③	おおいたうつくし作戦推進事業	90.9	86
②	未来の環境を守る人づくり事業	129.6	86

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○おおいたうつくし作戦県民会議(R5.8、R6.1)</p> <p>・ごみ拾いなどの共同作業は、地域の活性化につながり、住民自治にとってもよい手段の一つである。</p> <p>・子どもたちの清掃活動が大人、企業に広がった事例もあり、子どもへの環境教育も大切である。</p>	
---	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・幼児向け環境劇や環境教育アドバイザー派遣、うつくし感謝祭、積極的な情報発信等を通じて、県民の環境保全意識の醸成は着実に進展しているほか、県下各地で環境に関する県民運動をけん引するうつくし推進隊の育成も順調に推移している。</p> <p>・今後は、おおいたうつくし作戦県民会議の意見等も参考にしながら必要な施策の検討を進め、「おおいたうつくし作戦」の成果を継承した新たな県民運動「グリーンアップおおいた」の推進を図る。</p>